

# 沖縄を再び戦場にするな

中国脅威論と虚構の「台湾有事」をあおり立て、南西諸島有事の切迫性を強調する。南西諸島の島々では、安保関連3文書に基づくように、ミサイル基地建設と戦闘機や大型輸送機が着陸できるよう滑走路の延長工事が急ピッチで進められている。

第2次世界大戦の沖縄戦では旧日本軍が沖縄を「本土防衛の捨て石」として戦争を長引かせる作戦をとり、多くの人々が犠牲となった。

再び沖縄を戦場にさせないために、今、戦争反対の声を強く上げていかなければならない。

## ＝ 日本列島が米国の盾に 沖縄だけの問題ではない ＝

先の戦争で日本国土が初めて戦場となった地、沖縄。戦後、米軍統治下で基地の島へと変貌を強いられた。本土復帰後も米軍の極東最前線としての基地機能は強化されるばかり。

戦前は「日本本土防衛の捨て石」に、現在は「米国本土防衛の捨て石」にされようとしている沖縄。

自らの土地を奪われ、基地被害に苦しめられ、そして再び戦場化となる不安にさいなまれている沖縄の人々。

それは沖縄だけの問題ではない。日本列島すべてを覆い包むことになる。沖縄の現在は、日本列島全体の姿を先取りしているといえよう。なぜ、そこまで沖縄を、そして日本列島全体を軍事化しようとするのか。それは日米安保と新安保法制化の不可避の現実なのか。

日本列島を米国の盾にする対日戦略と、中国脅威論が日本の安全保障政策をゆがめている。

—山口大学名誉教授 瀧原 厚さん— 月間社会民主 1月号より

歴史を決して忘れてはならない。

戦端が開かれれば、軍備は悲劇を増大する道具になるだけだ。

新兵器を頼りに基地周辺の人々を犠牲にして国を守ろうとするのではなく、なぜ敵を作らないことに力を尽くそうとしないのか。

## 黙殺され続ける沖縄の圧倒的民意

# 社民党福島連合新春旗開き

## 衆議院選挙勝利政策学習会

岸田政権は改憲勢力が3分の2以上を獲得したことをテコに、平和憲法・国民生活破壊の軍事大国への道を押し進め、反動化路線に拍車をかけています。

2023年の自治体選挙の成果をしっかりと受け止め、2024年の衆議員選挙勝利にむけた戦いの決意を固めるため、組織人員の半数の結集を目標に、社会民主党福島県連合2024年旗開きならびに衆議院選挙勝利政策学習会を開催しますので、各総支部の取り組みをよろしくお願いします。

とき 2024年1月27日(土) 13時～15時30分

ところ 福島グリーンパレス 2階 瑞光の間

内容 第1部 社民党福島県連合2024年新春旗開き

主催者代表挨拶および各団体あいさつ

第2部 衆議院選挙勝利政策学習会

講演 軍拡路線に反対し、沖縄を戦場にさせない戦い

講師 社民党全国連合 渡辺 英明(新潟県連合幹事長)

※ 総選挙勝利に向けた総決起・全党員意思統一の場として、飲食は行いません。

※ 各総支部とも組織人員の半数の参加体制の確立に全力を挙げてください。

## 能登半島地震・災害救援カンパを

最大震度7を観測する大地震により、死者や負傷者が多数出たほか、家屋の倒壊や火災、道路の寸断など甚大な被害が発生しました。お亡くなりになった皆様のご冥福と負傷された皆様の1日も早いご快癒をお祈りいたします。

全国連合能登半島地震災害対策本部を設置し、各関係団体と連携し支援・復旧に向けた取り組みとあわせ、災害救援カンパを取り組んでいますので協力願います。